

2016年度文学部卒業論文題目

【行動科学科】

〈哲学講座〉

- 奥谷 暁乃 束髪の流行と衰微——鹿鳴館時代の欧化と国粹
勝山 竣 発生現象学において他我がどのように構築されるか
齋藤 未来 博物館とは一体何か、古代ギリシアの諸文献を手がかりに、
その本質を探る
竹山 千景 スピノザから学ぶ自由論
韭澤 哲 行為論によるロボットへの行為の帰属

〈認知情報科学講座〉

- 相浦 希帆 間接的発話による依頼・申し出と拒否応答の特徴
大平 望 外的刺激がパフォーマンスに与える影響に関する考察
呉 立衡 強化学習に基づくカテゴリー弁別における影響要素について
の検討
佐々木みちる カテゴリー適用時における文脈効果の検討
滝口 樹 経験知が知的作業に及ぼす影響についての研究
只木 琴音 ミュージアムにおける仕掛けの検討——美術館のキャプ
ションを題材に——
萩尾 竜馬 手話会話における話者交代事例の分析——重複という観点
から——
平田 彩乃 メニューからの選択時に効果のある宣伝文句についての検討
廣川 夏美 ハトにおけるゴール探索方略の検討——幾何学配置とベク
トル情報の比較——
藤本雅衣子 ハトはトポロジーを知覚できるのか——トポロジー的特徴
を手がかりにした弁別課題による検討——
星野有貴子 ハトにおける衝動性と視覚的注意の関係の検討
松村 涼香 空間的な単純接触効果の検討

- 三好 翔太 ギャンブル依存症を誘発する条件の検討
望月 詩織 ハトにおける主観的輪郭知覚の検討——ヒトとの種間比較研究——
- 山口茉衣子 視覚的オブジェクトの大きさ判断における拡散性の効果の検討——ハトを用いた比較認知研究——
- 山崎由美子 海外ドラマの日本語吹き替え音声の音響的特徴の探求
山田 裕紀 ハトの視覚探索における情報処理モデルの検討
山田 瑠奈 視覚情報が擬音語の産出に与える影響

〈心理学講座〉

- 荒井 愛花 ネガティブ表情の認知と影響を及ぼす個人差要因の検討
石井 優樹 時間および労力的コスト操作時におけるBehavioral Sunk Costの検討
- 井上 圭介 印象評定における第三者情報の影響——場依存-場独立の認知スタイルを視点として——
- 大河原綾乃 選択課題における確率知覚——非現実的楽観傾向の検討——
- 金丸絵美奈 有彩色範囲における記憶色効果とその色の恒常性に対する影響の検討
- 菅野 悟史 熟考が発言内容の真偽判断に及ぼす影響の検討
菊地 千尋 モザイク要素間のギャップが色平均化に及ぼす効果
駒宮 照 動作の観察と想像に基づく虚記憶に及ぼす視点の効果
高瀬 彩加 腕の動きの自動模倣とその個人差を規定する要因の検討
谷平あゆみ 周囲の観察者の行動が拒絶場面での援助行動に及ぼす影響
長沼 美優 空間-物体視覚型認知スタイルの大域-局所的認知課題におけるパフォーマンスの検討
- 中村 朋華 描画能力が多義の見えの個人差に与える影響の検討
野中あおい 不確実事態における意思決定に及ぼすワーキングメモリー負荷の効果
- 芳賀 南実 純音刺激を用いたピッチ変化における主観的連続性が視覚運動知覚に及ぼす影響の検討

- 笛木 万葉 エピソード記憶におけるFeeling of Knowingに及ぼす忘却指示と先行提示の効果
- 二塚 千晶 感情が情報処理方略と印象形成に与える影響の検討
- 松本 春香 画像の垂直および水平位置が美的配置における印象評価に及ぼす効果についての検討
- 南谷 高志 認知スタイルがGaze特有のSimon効果に与える影響
- 三好 紹平 言語記述が再認過程に及ぼす影響——テスト効果を用いた実験的検討——
- 山上 将希 成員のネガティブ行為に対する組織対応が、他の成員の組織評価に及ぼす影響
- 山口 真奈 長時間提示による色対比の増強現象の諸特性の検討

〈社会学講座〉

- 五十嵐篤志 非行少年の抑止について支援の現状——ボランティア活動を通して
- 井手上周太 沖縄県のサブポリティクスに見る市民運動研究——米軍基地闘争周辺の運動体——
- 伊能 愛理 コミュニケーション・メディアと自己承認行動
- 井餘田ちえり 待機児童問題の実態について
- 岩瀬 純梨 音楽イベントの変遷と市民活動の多様化——震災を契機とした「Re:Light」の活動からの考察
- 呉 セウム 韓国の大規模マンション団地からみる現代の都市社会
- 奥村 祐介 メディアとプロ野球の物語
- 檜本 京子 出生順位と関わり合いから見るきょうだい
- 加藤 綾音 発達障害者の支援の在り方について
- 金子 明史 地域の中の子どもの居場所——稲毛こどものまち CBT-iを事例に——
- 香嶋 亮介 「2017年」の音楽社会学
- 三枝 優美 女性の再就職支援のいま——「総ケア提供者モデル」の実現に向けて
- 佐藤 智美 プロ野球女性ファンの社会学——カープ女子を例にし

て——

- 鈴木 紀帆 人々の〈参加〉から考察する音楽フェス文化
鈴木 真実 『ラブライブ!』はなぜ人気を得たのか——「みんなで叫ぶ物語」——
- 高木 美波 〈ロックだ〉という形容表現について
瀧谷 美紀 日本における母子世帯政策の現状
塚越 萌 高崎まつりと地域における「重層性」
都留 拓也 ブレイクするお笑い芸人
中陣 郁弥 右利き社会と左利きの存在について
中田 真帆 男性と女性の親密性の違い
中野あゆみ 結婚の現状と今後の婚活の可能性
矢嶋 美優 被虐待児への支援の現状とこれから
山崎 遥 ロックライブのモッシュがどのように成り立つのか——
ロックバンドのライブにおける観客行動について——
- 吉田 久麗 miwaファンのつながり
吉野 正軌 「想像の共同体」は今——新聞の研究を中心に——

〈文化人類学講座〉

- 乾 琴恵 任意の集団をとらえる人類学・社会学的枠組みについて——只見線愛好会の事例から
- 植松 ゆき 境界線を引く——アトピー性皮膚炎患者の選択と「知」
浦野 里麻 職業として神事を担うということ——稲毛浅間神社に勤める人々の事例から
- 尾崎麗依奈 表象される筑豊・直方——直方市石炭記念館における実践を例として
- 小田 初穂 異国に生きる——海外での生活と中国人留学生の「アイデンティティ」
- 金井 望 「壁」を乗り越える——信仰の場において共生は可能か
小林 優生 現代酒造の職業コミュニティと紐帯
澤本 陸美 観光地化による「猫島」の創造と文化変容——宮城県石巻市田代島の事例

- 角 真帆 夜を生きる——セックスワーカーという存在
 高根 美里 都市農村交流に伴う主体形成の多様性——大山千枚田を事例に
- 橋本 祐介 現実と仮想世界を行き交うコミュニケーション——Twitterの企画型合唱団とその演奏会を例に
- 渡辺 萌恵 観光によるイメージ形成がもたらすものとは——道の駅とみうら枇杷倶楽部の事例から

【史学科】

- 石濱裕佳里 黒井峯遺跡にみる住居と単位群
 清水 舞琴 三浦・房総半島に於ける古墳時代洞穴墓
 高橋 健悟 宮下東畑遺跡からみた古墳時代の祭祀
 横田真名望 有舌尖頭器の形態分類・編年試案と考察
 國貞 明良 瀬戸内尾道地区における第二次製塩地整理
 齊田 悠生 地域新聞から見る近代日本の地域意識の形成
 中西紗洋美 戦後の慰霊活動・慰霊空間
 八重柏美緒 東京市における1918年米騒動と民衆
 岩立喜久雄 明治のクルマ製作
 冷水 健人 「天下所司代」村井貞勝一族の政治的役割と行政機構としての「天下所司代」
- 内堀加奈子 骸骨と音楽——17世紀ネーデルランド・フランドルのヴァニタス静物画を中心として
- 丹羽 琴美 17世紀イスタンブルにおける他宗教共生について——同職組合をめぐるムスリム・非ムスリム関係について——
- 長谷川万莉 箱根温泉にみる近世温泉の旅の実態
 村上 結依 会津藩の軍事構想と軍備の変化
 安藤 恭平 ムガル帝国初期の文献にみられる「食」について——『バーブル・ナーマ』と『アーイーニー・アクバリ』の記述から——
- 染谷 息吹 歴史学と国民形成——19世紀独立後ギリシアを例に——
 吉野 萌香 オスマン建築タイル装飾における「満開の花の樹」モチーフ

- フの様式と象徴性
- 岩橋 潤 東北城郭における瓦の導入過程から見る瓦葺き城郭の全国拡大
- 高坂 勇佑 江戸遺跡出土の陶磁器からみる日常喫茶の様相
- 今福 建佑 古墳時代後期における男性に対する女性の立場——島内地下式横穴墓の分析から
- 工藤 早恵 絵巻物から見る平安時代の家族像——描かれた妻の役割についての一考察
- 鈴木 穂希 1791年黒人奴隷蜂起からみる黒人奴隷のアイデンティティ
- 長谷川 怜 Paul Soleillet, Voyage a Sègou 1878-1879にみる、セグーの対外方針と外交の担当者たち
- 赤羽 莉奈 豊臣秀吉の京都支配に見る近世都市の成立
- 阿部 美里 江戸時代における狐僧絵の風刺性について
- 萩野 雄大 1893年シカゴ万博の開催地決定に関する経緯とその歴史的意義
- 竹田 萌香 パリオから見る中世シエナの社会的結合関係
- 野島 澄江 読者に近い高級新聞タイムズの伝統の成立
- 早坂 海 近代朝鮮における公娼制度の導入
- 伊藤まどか 戦間期のハンガリーにおける「ジプシー戦争」——農村探索運動とIBUによる国際的放送プログラム作成の観点から
- 久保田俊樹 チェコスロヴァキアの連邦化に関する考察
- 椿 ゆい ドイツにおける外国人・移民政策——これまでの概要と問題点
- 川口 莉奈 戦時期日本の少女雑誌にみる規範と表紙絵の機能——『少女の友』と『少女倶楽部』を中心に
- 岩川 菜瑠 『源氏物語』の受容の歴史について——江戸時代を中心に
- 門倉 晶穂 錦絵版『東京日日新聞』の姿

【日本文化学科】

- 新井 梨水 形容詞語幹型表現について
- 生田 桃子 神名からみる三輪氏と大物主神

- 石橋 直哉 地域的文化物「桜霊閣」の研究——動物像を中心に——
 上原 巧 「名言」に関する考察——文献学的考察により「名言」とは何なのかを捉える——
- 加藤 百華 刀剣伝承考
 河合 俊樹 銚子市におけるまき網漁業の現状——労働力の確保と後継者、資源管理を中心に——
- 黒田 翔 現代語における「畳語+しい」「畳語+している」型表現について
- 阪口 諒 アイヌの信仰におけるイナウの機能——口承文芸を中心として——
- 澤田 奈那 死を詠む——『万葉集』挽歌から『古今和歌集』哀傷歌へ——
 渋江 真桜 否定疑問文についての研究——肯定疑問と否定疑問の選択、否定疑問における期待度、応答を中心に——
- 白水 里奈 内田百閒『冥途』論
 清野 可苗 『万葉集』における「旅」
 高川 夏美 赤の文学史——服色を中心に——
 高木 悠希 日本文化と国際社会に関する研究——JCCの現状と課題を中心に——
- 高橋 菜由 大潮祭り継承に向けての取り組みとその背景
 高橋 優太 外国人のインタビューにおける翻訳テロップについての研究
 田代有香里 女ことばの研究——脚本の女性文末詞——
 立花 晴香 副助詞ばかりとノミに関する研究——『延慶本平家物語』と『天草版平家物語』との比較を通して——
- 田村 春佳 「ら抜き言葉」について
 鄭 煥 形容詞の「～げ」形の成立条件と用法分類について
 登坂 千秋 日本語における重言について
 長谷川夏美 近代日本文学における漢字の用法について——夏目漱石を中心に——
- 林 夏菜子 漁村の災害伝承——千葉県銚子市外川町における東日本大震災の記録——
- 福田 晴菜 ボカロ小説におけるメディアミックス

- 松田 健見 『建礼門院右京大夫集』研究——「星空」への道——
宮澤 里奈 龍に転生した平家一門——その関係性を探る——
向山 千景 複合動詞連用形転成名詞について——後項動詞「込む」を
中心に——
- 森川由季子 『とりかへばや物語』における性
山田 萌子 検閲と本文改訂——太宰治「惜別」——
渡辺 歩樹 夢野久作における「書簡体小説」論——『瓶詰地獄』『押
絵の奇蹟』を中心に——

【国際言語文化学科】

- 朝倉 有来 日本とドイツの歴史教科書の比較
荒谷 駿介 スタンダール『アルマンス』におけるエピグラフ
石澤 理奈 女性としてのガブリエル・シャネル
井手 厚門 Negative Polarity Items in English
伊藤 雅人 NHKの公正公平性における考察——BBCと比較して
伊良皆安奈 クラシックバレエのクラシックとは——『白鳥の湖』から
みるクラシック様式
- 内田 小春 アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子さま』
(Le Petit Prince) と「ことば」について
小黒 萌華 ベルンハルト・シュリンク『朗読者』——受容の変遷をたどる
柏木 咲乃 An Analysis of Christian Fundamentalists' Opposition to
the Theory of Evolution, Global Warming, and Abortion
in the United States
- 加藤ななみ ヴィクトル・ユゴーと『レ・ミゼラブル』——登場人物マ
リユスとの関係性
- 川上 貴大 Affixation in English and Spanish
川島七夕美 ジャック・プレヴェールにおける鳥のイメージ
河野 桃子 The Duality of Womanhood in Margaret Mitchel and
Scarlett O'Hara
- 菅野 美紅 不一致における言語行動の比較——日韓の比較を通して——
北崎 愛 チェーホフ作品における宗教的要素の役割

- 金 修希 パトリック・モディアノと『1941年。パリの尋ね人』の
ドラ・ブリュデールについて
- 金 里佳 現代ドイツにおける移民統合政策と社会の変化
- 黒木 綾 *Mrs Dalloway, Flowers and the Rhizome: A Critical
Analysis Based on Deleuze and Guattari's Philosophies*
- 小泉恵新子 ドイツにおける世界遺産条約の問題
- 黄 悦鳴 Race, Gender, and Class in *Gilmore Girls*
- 小海 千織 Two Types of "Partitive" Constructions
- 駒井 美穂 『ウンディーネ』と『親和力』にみられる女性像
- 佐久間大地 スペインにおけるイスラム文化の影響
- 関口ひかり 日本のエスニックビジネスにおける外来性とインターアク
ション管理——インドとネパールレストランでのインタ
ビューの事例から
- 染谷 直紀 『ニキータ』と『レオン』に表現される女性
- 竹内ちひろ マンガに見られる心態詞表現の研究——日独の比較を通し
て——
- 寺村 和亮 ドイツにおける「自殺ツーリズム」問題から考える死の自
己決定権
- 成田 宗明 「国際歴史教科書対話」とドイツの歴史認識
- 野口 真紀 ガストン・ルルーにおける「怪奇」
- 長谷川寛一 日本国内での英語使用について考える——日本人に対する
英語話者の外国語接触経験に基づく言語管理
- 早田あかね 観光大国スペインにおける観光政策
- 松島 華子 浜松市における多言語景観の実態と外国人居住者の意識
- 山下 結 アントニオ・ブエロ・バジェッホの *El tragaluz* に提示され
る *pensamientos* (思考) の意義
- 吉川ひより 接触場面の初対面会話における日本語母語話者の話題選択
と自己開示
- 吉澤 愛美 ロシア帝国末期から1930年代までのソ連のポスターにお
ける女性の表象